



特集！ 「菊水地区まちづくりネットワーク会議」 平成25年度 事業報告

平成25年度 「定期総会」開催！



平成25年5月24日(金)午後2時30分より、菊水地区会館において、平成25年度「菊水地区まちづくりネットワーク会議」の定期総会が開催されました。24年度の事業並びに決算報告に続き、平成25年度の事業計画について審議され、全会一致で了承されました。総会に引き続き、各事業部毎に、事業部長を中心に、平成25年度の具体的実施方法等につき確認が行われました。



「花で飾ろう運動」環境美化活動実施！

5月に入り、各町内会では歩道のます花壇に、“花の種”や“花の苗”植えが行われ、地域を鮮やかに彩り、街に賑わいを持たせる活動が始まりました。「菊水地区まちづくりネットワーク会議」環境・文化部では、助成金による支援を行いました。苗植えは、ご近所同士のお付き合いの場として、地域コミュニケーションの場としても有効だと思います。手がけた花が、美しく成長して行くこと、訪れる人々が記憶に残る、感動を与える、潤いと安らぎのある、そんな街並みに成ればと思います。



「全町一斉清掃」と「歩こう会」の協力事業！

菊水町内会連絡協議会(女性部)では「健康づくり実践会」として「歩こう会」を開催。今一番心配されている生活習慣病などの疾病予防や地域の方との親睦の為“みんなで楽しく歩きましょう”と呼びかけました。6月4日(火)午前10時30分豊平川「水穂大橋」から「南大橋」までの河川敷(往復4Km)で「歩こう会」が実施されました。当日は菊水町内会連絡協議会会長菊水まちづくりセンター所長も激励を兼ねて参加、挨拶を頂きました。また数年前より、菊水地区まちづくりネットワーク会議(環境文化部)の共催により、環境美化活動の一環として「紙くずや」や「空き缶」等のごみ拾いを兼ねたウォーキング会となりました。



第2回 菊水地区「防災訓練」

9月21日(土)菊水地区会館において、白石消防署菊水出張所のご協力により、第2回 菊水地区「防災訓練」が開催されました。これは、菊水地区まちづくりネットワーク会議 安全・安心部が主催したのですが、突然災害が発生すると、恐怖感や周囲の見慣れぬ光景に、誰もがパニックに陥ってしまいます。この様な場合でも、各自が落ち着いて、適切な行動が取れる様、日頃から、定期的な繰り返し訓練により、緊急事態に慣れておく事、そして身体で覚えておく事が大切です。安全・安心部では、今後も継続して実施して参りますので、多くの地域の方々の、訓練参加をお待ち致します。



「ボウリング大会」オリンピックホールにて開催！

10月3日(木)菊水町内会連絡協議会(女性部)主催のボウリング大会がオリンピックホールにおいて開催されました。この大会は、一昨年からは健康づくり実践会と菊水地区まちづくりネットワーク会議 福祉部が協力して実施することとし、男性も含め広く参加をつのり、更なる会員相互の親睦を深めて参ります。是非多数の参加をお待ちします。



第2回菊水地区「親睦パークゴルフ大会」 in 北村温泉！



10月13日(土)北村町「森森ヘルシー広場パークゴルフ場」において開催されました。当日はあいにくの雨でしたが、参加者54名で全員雨天決行！何とかゲームは終了。その後、北村温泉ホテルで、昼食、表彰式、入浴、と「健康づくり」や「地域の親睦」有意義な一日となりました。男子の部優勝者は77で北町(林四朗)さん、女子の部優勝者は76で南町(葛西洋子)さん。お疲れ様でした。

第2回「菊水ふれあい音楽祭」！

菊水地区まちづくりネットワーク会議 環境・文化部では、毎年11月3日(祝)文化の日因んで、菊水地区会館において、「菊水ふれあい音楽祭」を開催。今年で、第2回を迎え、出演者も「市立幌東中学校合唱部」菊水のオカリナ愛好家「童里夢」地元女性コーラス「バウムクーヘン」の熱唱により、時間がたつのも忘れ、瞬く間の2時間でした。菊水の文化として、お年寄りから子どもまで、そして、特に現役世代の方まで、幅広い年代の方々が、気軽に参加できる音楽祭になるよう・・・



「パソコン教室」北海道情報専門学校において開催

菊水地区まちづくりネットワーク会議主催のパソコン教室が 12 月 3 日（月）～12 月 7 日（金）までの 5 日間に亘り、北海道情報専門学校（山本徹校長）において、地域の方々 14 名が参加し開催されました。内容は、案内状やチラシの作成、地図や写真の貼り付け方、はがきの住所印刷など、実践的なものばかりでした。また今回より、インターネットの活用事例として「ユーチューブ、英語→日本語の翻訳、地図・観光地・旅行先道路ルートの検索、病院・薬関係の検索、お気に入り・ウィキペディア・知恵袋の活用」を講座に取り入れて頂き、受講者も気分上々。



「お年寄りと子どものふれあい交流会」開催！

1月9日（木）菊水地区会館において、地域の「お年寄りと子ども達との交流会」が開催されました。これは昔遊びの伝承や世代間交流などを目的に、菊水地区まちづくりネットワーク会議が主催し、地域の各団体が協賛して実施しているものです。お年寄りと子供たちが即席のチームで一緒に楽しいゲームや、手作りおもちゃにチャレンジ、お昼には、おいしいカレーライスを頂き、午後からは、子ども太鼓（源流太鼓）や児童会館の児童による合唱。楽しい時間を過ごしました。



第16回 菊水地区「雪中運動会」市立上白石小学校にて開催！



2月8日（土）午前 10 時より札幌市立上白石小学校において、第 16 回 菊水地区「雪中運動会」が開催され、地域の子ども達を中心に 330 人（子ども 160 人、大人 170 人）が参加。雪の中で、駆けっこや応援で寒さも何処えやら。ゲームの進行は、市立幌東中学校生徒会の役員が司会を務め、楽しく盛り上げ、子ども達は大喜び。途中温かいココアやお茶を頂き、又、運動会が終了後の閉会式には、次年度開催をお願いした市立幌東小学校のPTA会長から歓迎のご挨拶を頂き解散と成りました。この交流で仲良しの輪が広がってほしいと思います。

第2回「安全・安心まちづくり活動」総決起大会を開催

3月14日（金）菊水地区会館において、日頃より地域の安全・安心活動に取り組んでいる、関連団体が一同に会し、市民による自主活動の重要性を広く訴え、防犯意識の高揚、地域における連帯感の強化を目的に「安全・安心まちづくり活動」総決起大会を開催致しました。終了後は、4月からの新入学児童の通学に備え、青色回転灯パトロール車にて、帰宅までの通学路のパトロールを実施。



子育てサロン「どんぐりころころ」毎月開催！

菊水地区民生委員児童委員協議会では、菊水地区まちづくりネットワーク会議と共催で、毎月第2火曜日午前10時～11時45分まで菊水地区会館において、子育て中の親子の集いの場として「どんぐりころころ」を通年開催しています。手作りおもちゃで遊んだり絵本を読んだり、お母さん方はおしゃべりをしたり、たくさんの方と交流を楽しんでいます。当日は、菊水町内会連絡協議会を始め多くの地域ボランティアの方々に支援して頂き、参加者に楽しんで頂くため、クリスマス会や音楽会など、いろいろ演出を凝らしています。一度訪れてみては如何ですか。



「ホームページ」の運営と広報紙「菊まちネット」の発行

菊水地区まちづくりネットワーク会議では、福祉のまち推進センター運営委員会と協同でホームページを作成・運営しています。メニューには「最近の出来事」「イベント情報」「地域の各団体」等が紹介されています。



ホームページトップ画面

広報紙「菊まちネット」



又、広報紙「菊まちネット」は年2回発行し、菊水地区まちづくり活動の紹介を中心に、白石区内 他、地区の大きな活動等も紹介して参ります。

「菊水地区まちづくりネットワーク会議」ってなんですか？

札幌市では、平成19年4月に「自治基本条例」が施行されました。これは市民が主役になって「まちづくり」を進めるためのルールです。市民、議会、行政のそれぞれの役割や、仕組みが規定されています。「だれかがするだろう」「それは行政の仕事だ」と無関心しているのではなく、ひとりでも多くの市民が参加し「自分達の地域は自ら考え、皆と一緒によりよくして行く」そして「行政と連携・協働しながら地域づくりをして行く」これが「住民自治」であり「菊水地区まちづくりネットワーク会議」です。地域のことは、地域に住む人が一番よく知っています。困っていることがあれば、まず自分達でやってみる、必要なら行政と協力して問題を解決して行く、これが「住民自治」です。



男の子なら誰でもそうかもしれませんが、私の孫も、いつも部屋は散らかしほうだい。また、自分の部屋だけでなく、いろんなものが出しっぱなし、脱ぎっぱなしです。母親に躑について注意すると“言った時だけ、しぶしぶ片付けど長続きしない”とのこと。そこで、母親に1つの方法を提案しました。

1. **簡単なことから始める。** 「子どもはまず片付けが面倒」で「どうやって片付けたらよいか解らない」ので“まず本だけをしまおう”とか“おもちゃだけ、箱にしまおう”とか簡単なものから始める。
2. **ゲーム感覚で行う。** 「タイムを計る」とか、「親と競争」するとか、ご褒美をもらう（何でも良い）モチベーションを続かせる。
3. **感謝を伝える。** 「ありがとう、きれいになったね」ほめ言葉をセットで伝えることが大切だと思います。そして、出来れば、そのことをお父さんやおばあちゃんにも伝えてほしいと思います。ほめ言葉は大人でもうれしいものですし、自慢したいものです。「次もちゃんとやろう」と言う気持ちになると思うのですが。 “叱るより褒めろ”です。 さて効果の程は？

編集部